

# 当院における尿路上皮悪性腫瘍の治療成績と臨床データについての検討に関する研究

1980年1月1日より2027年7月31日までに尿路上皮悪性腫瘍のために治療を受けた患者さん

## 研究協力をお願い

当科では「当院における尿路上皮悪性腫瘍の治療成績と臨床データについての検討に関する研究」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、1980年1月1日より2027年7月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、尿路上皮悪性腫瘍のために治療を受けられた患者さんの臨床所見と病理学的特徴を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報をもとに研究させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：当院における尿路上皮悪性腫瘍の治療成績と臨床データについての検討

研究期間：研究実施許可日～2028年1月31日

当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 泌尿器科 助教 遠藤勇氣

### (2) 研究の意義、目的について

当院における尿路上皮悪性腫瘍の治療成績と臨床データについての検討を行う事で、尿路上皮悪性腫瘍患者における至適治療法の選択を可能にし、各種最新医療の治療効果予測を明らかにすることを目的とします。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

1980年1月1日～2027年7月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて尿路上皮悪性腫瘍の診療を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：血液、尿、手術時に切除した尿路上皮悪性腫瘍組織等 情報：年齢、性別、血圧値、採血値、凝固系指標、治療歴、副作用歴等

これらの試料・情報は、代表研究機関である日本医科大学にてデータ解析を行います。これらの試料・情報は、金庫にて管理されたPC上に入力を行い、臨床所見および病理学的特徴から予後解析等の予測検討を行います。

### (4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学付属病院 泌尿器科

研究全体の責任者：日本医科大学 泌尿器科 助教 遠藤 勇氣

### (5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (7) 本学における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 泌尿器科 助教 遠藤勇氣

〒113-8603 東京都文京区 千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：24684

メールアドレス：y-endo1@nms.ac.jp